

マンジャロ等の GLP-1/GIP 受容体作動薬をご使用中の受診者様へ
(胃の検査をご希望の方は必ずご確認ください)

フィオーレ健診クリニック

マンジャロ（成分名：チルゼパチド）などの GIP/GLP-1 受容体作動薬は、胃の動きを穏やかにし、食べ物の消化・排泄を遅らせる作用があります。そのため前日夜から通常の食事制限規定通りに絶食していても、翌日の検査時に胃の中に食べ物が残っているケースが国内外で報告されています。当クリニックでは、皆様の大切な健康診断の機会を守るため、薬の使用のみを理由に一律で検査をお断りすることはしておりません。

しかし、胃内に残渣（ざんさ：消化されずに残った食べ物）があると、胃粘膜の観察が不十分となるだけでなく、検査中もしくは検査後の嘔吐や誤嚥（ごえん：気管に内容物が入ってしまうこと）のリスクが高まります。

また、胃バリウム検査の場合は、検査後に便秘やイレウス（イレウス：腸が詰まって流れが止まる状態）に注意が必要です。

皆様に安全かつ精度の高い検査をご提供するため、マンジャロ等使用中の方は、事前に主治医へのご相談と、前日のお食事制限へのご協力をお願いいたします。

【重要】検査の途中中止とご返金について（必ずご確認ください）

胃カメラや胃バリウム検査で胃内残渣が多い場合、嘔吐・誤嚥の危険性や観察不良により、担当医または検査技師が安全のため検査を途中で中止することがあります。

この場合、すでに事前の準備や検査手技自体は開始されており、胃検査以外の検査も実施済みとなるため、キャンセル扱いとはならず、料金の返金や別日への振替は出来ません。

あらかじめご理解・ご了承をよろしくお願いいたします。

胃バリウム検査後の注意点

胃バリウム検査は、バリウムを速やかに排泄することが重要です。マンジャロを使用している方には、副作用として便秘やイレウスが起こることがあるため、検査後は特に注意が必要です。当クリニックが推奨する水分量・食事量・下剤の使用方法を必ず守ってください。

また、便が排出されない場合に備え、下剤は余分にお持ち帰りいただくようお願いいたします。

主治医への事前相談のお願い

糖尿病治療目的でお薬を使用している方が自己判断で休薬すると、原疾患が悪化する恐れがあります。当クリニックから休薬指示は行いませんので、健診受診前に主治医へ「胃の検査を受ける予定であること」をお伝えいただき、休薬の可否をご相談ください。

推奨される検査日程（タイミング）

マンジャロ等は、注射後 1～3 日で薬の血中濃度がピークとなり、胃の動きを止める作用が最も強く出ます。そのため、健診受診日は可能であれば次回の注射予定日の直前をお勧めします。少なくとも注射後 3～4 日目以降に設定していただくことを強く推奨します。注射直後の 1～2 日目に検査が重なる日程は、残渣リスクが高いため極力避けてください。

前日のお食事ルール（胃内残渣を減らすため）

マンジャロ等を使用中の方は、通常の検査前 10 時間の絶食だけでは不十分です。

検査前日（1 日間）は、3 食すべてにおいて以下の低残渣食（消化の良いお食事）にしてください。

- 前日のお食事（低残渣食）のルール

1 日を通して、白粥、素うどん、豆腐、白身魚など、極めて消化の良いもののみをお召し上がりください。

- 避けていただきたい食品（禁止食材）

- ・ 野菜類、きのこ類、海藻など（食物繊維が多いもの）
- ・ 揚げ物、脂身の多い肉（脂肪分が多いもの）
- ・ 野菜ジュース、スムージー、果肉入り飲料（微細な食物繊維が残ります）
- ・ アルコール（通常健康診断同様、禁止です）

- 健診前日の夕食について

前日の夕食は遅くとも 19 時までに済ませてください。夕食の量は普段の半分以下とし、以降はお水または白湯（さゆ）のみの摂取にしてください。

ご協力をお願い

安全で精度の高い検査を行うため、マンジャロ等をご使用中の方は、必ず事前申告をお願いいたします。ご不明点があればお気軽にお問い合わせください。